



〒070-8014 旭川市神居4条19丁目 Tel:0166-61-8298

旭川市立神居東中学校
元年度学校だより

No. 3

6月24日(月)発行

発行責任者 教頭:小嶋

「強い競技者である前に 強い人間であれ」

校長 森 田 聖 吾



5月30日(木)の開催となった第38回校内陸上競技大会は、平日にも関わりませず、ご来賓の皆様、保護者の皆様、地域の皆様など多くの方々のご声援やご協力をいただき、無事成功裏に終了することができました。本当にありがとうございました。

本大会では、今年も印象的な場面がたくさんありました。

例えば、学年ごとの全員リレーでは、クラスごとに走順に工夫を凝らして、走るのが苦手な生徒の負担をできるだけ軽くするようにしたり、クラスメイトの走る姿にどの学級も大きな声で声援を送ったりしていました。また、係活動では競技を円滑に行うために、小走りで移動する生徒が多かったです。

陸上競技大会らしく自分自身の記録への「挑戦」、学級で設定した目標を達成するための「協働」、学校行事を成功させるための「責任感」など、一人一人が自分ができることに一生懸命に取り組んでいました。生徒の頑張りや教職員の指導に感動させられました。



3年生の八代 優月さんが発案した本大会のスローガンである「東中魂かかげ参上～誇りを胸に咲きほこれ～」に相應しい、東中生としてキラキラと輝いたその成長した姿は、今後の学校生活に生かされるものと確信しています。

保護者や地域の皆様とともに、多くの「感動」を味わうことができた1日でした。

次に、6月4日(火)に開催された旭川市中学校連盟陸上競技大会には、本校からは18種目に22名の選手がエントリーしました。普段から陸上種目を専門に活動している選手、他の部活動に所属し、神居東中学校の代表として選出された選手、いずれの選手も自分の限界に挑戦し、素晴らしい成績を残してくれました。



この大会で全道陸上競技大会への出場権を獲得した選手が7名もいました。特に、2年生の鈴木 瑠夏選手は女子1,500mで大会新記録を樹立しました。一方、3年生の中には、怪我のために競技に出場できなかった選手が二人いました。両選手とも、その悔しさや辛さを顔に出さず、裏方として他の選手をサポートしたり応援したりしていました。このように、本大会に参加した全ての生徒が、精神面で一回りも二回りもたくましく成長していました。

さて、いよいよ明日からは、令和元年度・第72回中学校連盟体育大会の熱戦が繰り広げられます。本校の代表として出場する選手の皆さんには、「強い競技者である前に、強い人間であれ」「いい選手である前に、いい人間であれ」というスポーツ本来の意義を忘れずに、頑張ってくださいと思います。もちろん、勝敗の結果が気になるところですが、そこに至るまでのプロセスはそれ以上に大切です。

「たとえ試合に勝っても得るものがなければ負けたも同じ。たとえ試合に負けても得るものがあれば勝ったも同じ」。結果を求めて一生懸命に頑張り、そこで培ってきた自信や忍耐力、仲間との絆を「青春の宝物」としてください。3年生には、部活動の優秀の美を飾るに相應しい大会となることを願っています。また、応援に参加する生徒は、選手が「東中魂」を発揮できるよう後押ししてください。

保護者や地域の皆様には、中学校連盟体育大会に対するご協力と応援をよろしくお願いいたします。